

さらなる友好を 深めよう

企画財政課企画経営室 ☎(25)1101

市では、九鬼水軍の将・九鬼嘉隆をはじめとする九鬼家を中心とした歴史・文化で、深い結びつきがある兵庫県三田市と、平成 23 年 7 月 1 日に「友好都市宣言」を締結しています。

互いの価値観を尊重しながら、歴史文化、スポーツ、教育、観光、防災など幅広い分野にわたって末永く手を携え、これまでに培われてきた両市相互の信頼と理解をもとに将来にわたる友好関係を築いていくため、引き続き交流を深めていきます。



森 哲男 三田市長



1 月 25 日、中村市長が三田市を訪問し、森哲男三田市長との懇談や旧九鬼家住宅資料館などを視察しました。

兵庫県三田市

三田市は、兵庫県の南東部、六甲山地の北側に位置する豊かな自然環境と穏やかな気候に恵まれたまちです。

南部にはニュータウンの美しい都市景観、北部には昔ながらの里山の暮らしもあり、日本の原風景が広がっています。

また、市街地には歴史を語る古民家や由緒ある寺などが点在し、かつての城下町の雰囲気を垣間見ることができます。

平成 30 年 7 月 1 日には、市制施行 60 周年を迎えます。



三田市と九鬼家

志摩国鳥羽藩(鳥羽市)を拠点に九鬼水軍を統率した九鬼嘉隆の子・守隆の死後、守隆の五男・久隆と三男・隆季との間に家督争いが起こります。

この御家騒動を知った幕府は、この家督争いを理由に久隆を摂津国三田へ、隆季を丹波国綾部(京都府綾部市)に領地を移させました。これにより九鬼家は海と接する鳥羽の地と水軍を失い、久隆が初代三田藩主となり、明治の廃藩置県までの約 240 年間、三田藩を統治することになりました。

旧九鬼家住宅資料館

旧九鬼家住宅は、三田藩家老職を代々勤めた九鬼家の住宅として明治初期に建てられました。全国でも数少ない擬洋風建築の建物で、平成 10 年に兵庫県重要有形文化財に指定されました。

「擬洋風建築」とは、当時の大工が洋風建築を取り入れて造った洋風と和風が混在した建物のことです。当時の九鬼家当主で、鉄道技師として活躍した九鬼隆範が自ら設計しています。

館内には、隆範が手作りした製図用具や定規、設計用の絵具や絵皿などが展示されているほか、各種の企画展が開催されています。



旧九鬼家住宅資料館

交通 JR三田駅、神戸電鉄三田本町駅から徒歩約 10 分

平成 29 年度友好都市交流事業

平成 29 年度に実施した三田市との友好都市交流事業について紹介します。

友好都市交流推進協議会

三田市との相互交流を円滑に推進するため、交流事業などについて検討、調整および情報交換を行う「友好都市交流推進協議会」を鳥羽市民文化会館で開催し、三田市からも各交流事業の担当者 11 人が出席しました。

会議では今年度の交流事業の進捗状況について確認するとともに、平成 30 年度に実施する交流事業の内容などについて担当別に協議を行いました。



スポーツ交流

12 月 23 日、三田市の小学生バレーボールチーム（2 チーム、47 人）が本市を訪れ、鳥羽市民体育館で交流試合や合同練習を実施しました。

本市からは、TOBA EAST Jr スポーツ少年団と鳥羽チアーズ V.B.C. スポーツ少年団の選手 23 人が参加し、バレーボールを通じて互いの友情と親睦を深めました。



歴史文化交流

2 月 1 日・2 日に、文化財担当の職員が三田市を訪問し、三田市にある九鬼家関連資料の調査を実施しました。

教育（学校）交流

両市の児童が「互いの市について知る」ことを目的に学校間交流を実施しました。

神島小学校と母子小学校の児童が、各学期にスカイプを活用し、画面を通して自己紹介や学校紹介などをして交流しました。

また、鳥羽小学校と三田小学校の 4 年生は、学習したことをまとめた冊子などで互いに学び交流しました。

観光交流

◆九鬼水軍楽市

9 月 3 日に開催された九鬼水軍楽市に三田市が参加しました。三田市の特産品である「黒大豆枝豆」と「幸民麦酒」の販売を行うとともに、来場者に観光パンフレットを配布し、PR を行いました。



◆さんだ農業まつり

11 月 12 日に三田市で開催された「さんだ農業まつり」を訪れ、本市の特産品を紹介するとともに、とばーがーキャラクター「トーバ」のぬりえコーナーを設置し、家族連れの人気を集めました。また、ステージイベントにも出演し、○×クイズを行い本市の観光PRを実施しました。



防災応援協定

鳥羽市と三田市は、地震などの大規模災害に備え、被災時に両市が互いに応援協力しあうことを約束する「災害時相互応援協定」を平成 25 年 1 月に締結しています。

11 月 10 日には、三田市と衛星電話を用いた通信訓練を実施しました。

人事交流

交流事業では両市の特色ある事業や取り組みについて学び、今後の事業に活かすことを目的として、職員の相互研修を実施しています。

今年度は税務課 4 人、総務課 1 人の計 5 人が三田市を訪問し、担当する業務について学びました。

その他の交流

◆ふるさと納税

ふるさと納税をしていただいたかたへお届けする特産品として三田市とのコラボ商品「海の九鬼・山の九鬼セット」を作成し、鳥羽市からは「旬の海産物」、三田市からは「三田牛」をお届けしています。

今年度（1 月末時点）は、コラボ商品を希望するかたから鳥羽市へ 6 件、三田市へ 18 件の寄附が寄せられています。